プレスリリース

2026 年 11 月 28 日

株式会社アースコーポレーション

栃木県産いちごのブランド強化に関する連携協定を、ベリーズバトンとアースコーポレーションが締結

～農業×地域創生×マーケティングで栃木県産いちごの認知拡大・ブランド価値向上へ～

株式会社ベリーズバトン（本社：栃木県真岡市、代表取締役：新井孝一）と株式会社アースコーポレーション（本社：熊本県玉名市、代表取締役：一志肇）は、栃木県産いちごの認知拡大、ブランド価値の向上及び販路の拡大を通じた地域農業・産業の振興を目的として、「栃木県産いちごのブランド強化に関する連携協定」を締結しました。

両社は、いちごの生産・商品開発の基盤と、地域創生支援・マーケティングの知見を掛け合わせ、SNS やインフルエンサー等を活用した情報発信、新たな商品開発、国内外の販路開拓など、多角的な取り組みを推進してまいります。

1. 連携の背景

栃木県は、国内有数のいちごの産地として、長年にわたり高品質ないちごの生産と品種開発に取り組んできました。

株式会社ベリーズバトンは、栃木県真岡市を拠点に、200a（約 2 ヘクタール）の広大な作付面積を有する農業法人です。高い栽培技術と先進的な農業経営により、農林水産大臣賞をはじめとする数々の賞を受賞するなど、栃木県のいちご生産を牽引する企業の一つとして、産地の発展に貢献しています。

また、いちごの生産・販売にとどまらず、栽培技術の研究や新規就農者支援、観光いちご園の運営などにも取り組み、消費者との直接的な接点を通じて、栃木県産いちごの魅力を広く発信しています。

近年、消費者の価値観や購買行動が多様化するなか、地域産品のさらなるブランド価値向上に向けては、品質や生産技術といった産地の強みに加え、商品の魅力や特徴を効果的に発信し、新たな需要や販路を創出していくことが重要となっています。

こうした背景から、ベリーズバトンが培ってきたいちごの生産技術や産地とのつながりと、アースコーポレーションが有する地域創生支援・マーケティングの知見を掛け合わせることで、栃木県産いちごのさらなる認知拡大とブランド価値向上、地域農業の持続的な発展を目指し、本協定を締結しました。

2. 「農業×地域創生×マーケティング」を軸とした連携

ベリーズバトンが有するいちごの生産・商品開発の基盤と、アースコーポレーションが有する地域産品の販売支援、ブランディング及びプロモーションの知見を融合させ、生産から商品開発、情報発信、販売促進、販路開拓までを一体的に推進します。

SNS マーケティングやインフルエンサーマーケティングをはじめ、多様なマーケティング手法を活用し、栃木県産いちごの品質やおいしさ、品種ごとの特徴、生産者のこだわり、産地の魅力を国内外に発信していきます。

消費者との接点を拡大し、認知から購買へとつなげることで、栃木県産いちごのブランドとしての競争力を高め、新たな需要の創出と地域経済の活性化を目指します。

3. 主な連携領域

4. 今後の展開

今後は、両社の強みを生かした商品開発やマーケティング施策、販路開拓等を通じて、栃木県産いちごの魅力をより多くの消費者に届け、国内外で選ばれるブランドとしての価値向上を目指します。

農業と地域創生、マーケティングを掛け合わせることで、地域産品の可能性を広げ、新たな需要や価値を創出するとともに、地域農業の持続的な発展及び地域経済の活性化に貢献してまいります。

5. 連携協定の概要

協定名称：栃木県産いちごのブランド強化に関する連携協定

締結日：2026 年〇月〇日

締結企業：株式会社ベリーズバトン、株式会社アースコーポレーション

目的：栃木県産いちごのブランド価値向上、販路拡大、担い手の確保及び地域経済の活性化

6. 会社概要

株式会社ベリーズバトン

所在地：栃木県真岡市古山 1305

代表者：代表取締役 新井 孝一

事業内容：いちごの生産販売、いちごの技術研究、新規就農者支援

ウェブサイト：https://berrysbaton.com/

株式会社アースコーポレーション

所在地：熊本県玉名市高瀬 502 番地 2

代表取締役：一志肇

事業内容：ふるさと納税支援事業、地域創生支援事業等

ウェブサイト：https://earth-corporation.co.jp/

7. 本件に関するお問い合わせ

株式会社アースコーポレーション

連絡先：［公開前に確定］

※本原稿は確認用です。協定締結日、公表日、会社概要、掲載素材及び問い合わせ先は両社確認のうえ確定します。